

平成 30 年度職員採用選考試験（獣医師）
専門記述試験（30. 6. 24）

＝ 課 題 ＝

○家畜伝染病について

国内では、近年、鶏の高病原性鳥インフルエンザが、冬季に発生しており、問題となっています。

また、口蹄疫は、平成 22 年以降、国内で発生していませんが、アジア圏では散発的に発生が確認されており、高病原性鳥インフルエンザと並ぶ、警戒の必要な家畜伝染病の一つです。

次の質問に対し全て回答しなさい。

1 家畜伝染病について

- (1) 家畜伝染病予防法第 2 条に規定されている伝染性疾患の種類を可能な限り記述しなさい。
- (2) 口蹄疫と高病原性鳥インフルエンザの国内への侵入経路が違うことにより、効果的な発生防止、まん延防止対策が、両疾病においてどのように違うかを詳細に記述しなさい。

- 2 高病原性鳥インフルエンザ発生時には、「発生地域での、農場間のウイルスの伝搬リスクを抑えるため、鶏の畜産関係者は、他の養鶏場等へ訪れることを極力控える。」などの対策を実施しますが、この他に、発生地域において本病のまん延を防止するための有効な対策を可能な限り記述しなさい。